

1.研修プログラムの名称

産科・婦人科研修プログラム

2.研修概要（理念・特徴）

医師としての心構えおよびチーム医療の実践

3.一般目標

産科研修においては、妊娠・分娩・産褥期の管理ならびに新生児の診療に必要な基礎知識とともに、育児に必要な母性とその育成を学ぶ。特に胎児や新生児への影響を考慮し、妊産褥婦に対する検査や治療に関しては一定の制限があることなど、産科診療の特殊性を理解する。婦人科研修においては、良性および悪性の腫瘍について、検診の重要性から腫瘍の診断、治療、さらに緩和医療や終末期医療についての幅広い知識を習得する。

4.具体的目標

産科：流・早産および満期産について初期治療に参加できる。妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）を診察し、治療に参加できる。

婦人科：良性悪性の腫瘍について、初診・初回治療から再発・終末期などの腫瘍の診断・治療についての知識の経験。

5.指導体制・方略

病棟では、グループに所属しグループリーダー、後期研修医（専攻医）と共に入院患者の診療を行う。外来では指導医の初診の陪席につき、症例ごとに指導を受ける。

6.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	8:00 抄読会・朝礼 8:30 病棟、手術又 は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟、手術又 は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟	8:15 朝礼 8:30 病棟 10:00 教授回診	8:15 朝礼 8:30 病棟、手術又 は外来	8:15 朝礼 8:30 病棟、手術又 は外来
午後	13:00 病棟又は手術 特殊外来 16:00 NICU カンファ	13:00 病棟又は手術	13:00 病棟、手術又は 特殊外来	13:00 病棟又は手術 16:30 腫瘍カンファレンス	13:00 病棟又は手術 ハイリスク妊娠外来 など	
夜間	17:30 臨床検討会	17:30 研究会				

研修医向けレクチャー：毎週火曜日 12:00～13:00 研修医向けクリニカルカンファレンス

7.研修活動

臨床症例検討会、抄読会、研究会、腫瘍カンファレンス、周産期カンファレンス

8.評価

1) 自己評価

患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する

- EPOC を用いて自己評価を行う
 - 研修事後レポートを用いて自己評価を行う
- 2) 指導医による評価
- EPOC を用いて評価する
 - 研修事後レポートより評価する
 - 他者評価表を用いて評価する
 - 研修終了時に試験を行い、振り返りをおこなう
- 3) コメディカルによる評価
- EPOC 又は評価表を用いて評価する
 - 他者評価表を用いて評価する
- 4) 研修医による評価
- EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する
 - 評価表を用いて指導医並びにコメディカルを評価する

9.その他特記事項